

平成24年4月1日付け 組織改正と人事異動

〈解禁〉

テレビ・ラジオ	3月30日(金)17:00
インターネット	3月31日(土) 0:00
新聞	3月31日(土)朝刊

平成24年3月29日
佐賀県 経営支援本部

1

組織改正

総合計画2011に掲げた施策を推進するとともに、喫緊の課題に対応するために必要な体制整備を行います。

1 文化・スポーツ に関する施策の推進体制の強化

2 環境・エネルギー 関連施策の推進体制の強化

3 その他（環境・産業・交通等関連部門）



「文化・スポーツ部」の設置 ①

文化・スポーツに関する施策を幅広く展開していくため、関連業務を「文化・スポーツ部」に一元化し、充実・強化します。

☞ 文化財の保護や学校体育以外の「文化・スポーツ」に関することを教育委員会から移管することに加え、以下の分野も担当。

- ・ 障害者と高齢者の文化・スポーツ
- ・ 博物館・美術館や図書館の管理運営
- ・ フィルムコミッション、「J1サガン鳥栖」支援



都道府県の文化・スポーツ担当部局の中では
もっとも広い範囲をカバー



「文化・スポーツ部」の設置 ②

「文化・スポーツ部」の規模は、128人

(教育委員会から 96人 移管)

◎ 暮らし環境本部

○ 文化・スポーツ部

128人

スポーツ課

文化課

世界遺産登録推進室

まなび課

知事部局

- ・アスリート支援／プロスポーツ
- ・障害者・高齢者の文化・スポーツ
- ・フィルムコミッション
- ・文化芸術／世界遺産推進
- ・生涯学習(総括)

教育委員会

- ・生涯スポーツ／競技力向上
- ・生涯学習(推進)
- ・図書館先進県づくり
- ・博物館等の施設の管理運営

「世界遺産登録推進室」の設置

「三重津海軍所跡」の平成27年の世界遺産登録を目指し、
推進体制を強化します。

☞ 専任の組織を設置し、世界遺産登録の前提となる国史跡指定手続き、保存管理計画の策定、バッファゾーン設定等の作業を進めていきます。



「新エネルギー課」の設置

産業の基盤や国民生活を支えるエネルギー関連業務を農林水産商工本部に一本化し、関連施策を総括的に立案・実施していきます。

☞ 太陽光、EV関連業務を、くらし環境本部（地球温暖化対策課）から農林水産商工本部へ移管します。

☞ 農林水産商工本部において、**県内産業面への波及効果を得ていくとともに、新たな産業の種を育てていきます。**

☞ くらし環境本部の環境部門は、**地球温暖化対策及び環境保全関連業務に特化します。**



環境部門、産業部門の再編

「地球温暖化対策課」「循環型社会推進課」の再編

☞ 環境部門全般のマネジメント力を強化するため、「地球温暖化対策課」、「循環型社会推進課」及び「環境監視指導室」を、「環境課」と「循環型社会推進課」に再編します。

「新エネルギー・産業振興課」「基礎科学・新領域振興室」の再編

☞ 新しい産業の創出、基礎科学の振興のための体制を整備するため、「新エネルギー・産業振興課」と「基礎科学・新領域振興室」を再編し、「新産業・基礎科学課」を設置します。

交通部門等の再編

「空港・交通課」「新幹線活用・整備推進課」の再編

- ☞ 「空港・交通課」、「地域交通対策室」及び「新幹線活用・整備推進課」を、LCCなどの空港業務に特化した「空港課」と、新幹線と身近な交通との連携強化を図る「新幹線・地域交通課」に再編します。



「施設整備室」の設置

- ☞ 県有施設の耐震化計画の確実な推進など、公共施設の安全・安心を支える体制強化を図るため、「建築住宅課」内に「施設整備室」を設置します。

人事異動

1 人事異動の概要

2 新規採用者数の大幅増

3 多様な人材の確保



人事異動の概要

異動者の総数は1,188人

年 度	異動者総数（実質異動者数）
H24.4.1	1,188人（946人）
H23.4.1	1,191人（991人）
H22.4.1	1,323人（1,080人）
H21.4.1	1,298人（1,020人）
H20.4.1	1,366人（1,094人）

新規採用者数の大幅増

平成24年4月1日付け新規採用者数 **103人**
(大卒程度 88人 高卒程度 15人)

※知事部局採用者数が100人を超えるのは、平成6年度採用以来18年ぶり

年度	新規採用者数
H24(今回)	103人
H23	51人
H22	41人
H21	42人
H20	67人



多様な人材の確保

「行政特別枠」「U・Iターン枠」新規採用者が大幅に増加

民間企業を志望するような人材を募る「行政特別枠」と、民間企業で多様な経験を積んだ人材を対象とする「U・Iターン採用枠」での新規採用者数は合計27人

年 度	特別枠	U・Iターン	合計
H24.4.1	14人	13人	27人
H23.4.1	4人	5人	9人
H22.4.1	4人	2人	6人
H21.4.1	3人	3人	6人

多様な人材の確保

都道府県で初めて「JICA枠」を創設、1名を採用

<創設の経緯>

➤ JICAボランティアを通して培われた

- ・困難な状況を克服する意欲と情熱
- ・柔軟な思考と行動力
- ・多様な文化や価値観を理解・容認し、相手との信頼関係を築ける
コミュニケーション能力

等を有する人材を求め、「JICAボランティア経験者枠」を創設

<受験申込み状況>

➤ 27名が応募

<採用決定者のプロフィール>

➤ JICAボランティア派遣歴

【派遣先】タンザニア 【分野】理数科教師

【期間】平成21年6月～平成23年6月

※この他に、U・Iターン採用にJICA経験者1名（派遣先…パナマ、ラオス）

(参考)

本庁と現地機関の交流

年 度	本庁→現地	現地→本庁	交流率 ※
H24	155人	121人	29.2%
H23	142人	162人	30.7%
H22	171人	203人	34.6%
H21	148人	139人	28.5%
H20	167人	153人	30.3%



お問い合わせ先

佐賀県 職員課



0952-25-7011



shokuin@pref.saga.lg.jp